

講義科目名称： ふれあい実習

授業コード： 2210500200

英文科目名称： Community Based Fieldwork Program

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員			
中村義実、堀江正男、◎石井角保、徐淑子、渡辺弘之、葛城美德、エルダトン・サイモン、永吉 雅人、他2名			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 60時間</p> <p>【担当教員】 中村 義実、堀江 正男、◎石井 角保、徐 淑子、渡辺 弘之、葛城 美德、エルダトン サイモン、永吉 雅人、他2名 実務経験のある教員が担当します</p> <p>【本学の科目区分】 教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○ ○</p>
------	---

到達目標	地域で暮らす人々の日常生活の成り立ちや生活の基盤となる価値について、地域の人々との交流を通して知り、生活者の視点に立つて考えることができる。地域に暮らす人々がより良く生活するための「暮らしづくり」と、そこでの看護が果たす役割について、理解する。
------	--

授業概要	<p>1. 実習プログラムの構成 学生は数名のグループに分かれ、事前・事後学習および現地実習を行います。現地実習では受入団体等に訪問し聞き取りおよび地域活動への参加等を行います。事前・事後学習を通し、個別に収集した情報や体験内容をグループ内で分かち合い、その内容をもとに発表資料やグループレポートを作成します。実習終了後には学習成果報告のための発表交流会や学内展示を行います。</p> <p>2. ふれあい実習で体験できること グループで協力しながらものごとを達成するプロセスを体験することができます。現地実習では、2年次以降の看護実習、将来の看護行為や看護研究の基礎となる「観察」「傾聴」「記録」の三技能を体験することができます。また他者とのコミュニケーションを振り返る機会となります。短期間ではありますが、普段の生活と異なる場所に身を置くことで看護の対象となりうる人との生活や地域社会のあり方、地域医療上のさまざまな問題点について考えるきっかけを得ることができます。</p>
------	---

授業計画	<p>事前学習</p> <p>授業内容 授業形態：対面 学習課題：実習目標の理解 学習内容：・「ふれあい実習」の位置づけ ・教室を離れた場所での学び 備考：グループ担当教員が必要に応じて学生の学習を支援する。</p> <p>授業内容 授業形態：グループ学習（対面または遠隔） 学習課題：実習地に関する情報収集 学習内容：・対象地域の社会と文化の理解 ・聞き取りの方法とマナー ・医療と「観察」「傾聴」「記録」 備考：グループ担当教員が必要に応じて学生の学習を支援する。</p> <p>授業内容 授業形態：個別学習（対面または遠隔） 学習課題：自己課題の設定 学習内容：・実習を通じての自己の達成目標を立てる 備考：グループ担当教員が必要に応じて学生の学習を支援する。</p> <p>現地学習</p> <p>授業内容 授業形態：地区・グループ別のフィールドワーク（対面） 学習課題：・地域の人びとの生活に触れ、その声に耳を傾ける ・地域で見聞きしたことが地域医療や看護とどのように結びつくのかグループで考える 学習内容：・地域に身を置き、地域社会が培ってきた文物に触れる ・地域が抱える問題の発見 ・異なる年齢層の人たちとのコミュニケーション ・「観察」「傾聴」「記録」の三技能を体験する ・自己と他者のコミュニケーションを客観的にふりかえる 備考：グループ担当教員が必要に応じて学生の学習を支援する。</p> <p>事後学習</p> <p>授業内容</p>
------	--

	<p>授業形態：対面 学習課題：体験の言語化と学びの共有 学習内容：・グループレポート作成およびレポートにふさわしい文章表現について学ぶ 備考：グループ担当教員が必要に応じて学生の学習を支援する。</p> <p>授業内容 授業形態：グループ学習（対面または遠隔） 学習課題：共同作業による成果物の作成 学習内容：・現地で得られた情報の整理や情報の追加収集 ・発表資料とグループ報告書作成 備考：グループ担当教員が必要に応じて学生の学習を支援する。</p> <p>授業内容 授業形態：発表交流会・展示（対面） 学習課題：視聴覚資料を用いながら学習成果の発表を行う 学習内容：・実習全体を通じて得た内容を踏まえ、グループで議論した内容をもとに発表資料を作成する ・発表交流会の準備および運営</p> <p>授業内容 授業形態：個別学習（対面または遠隔） 学習課題： 学習内容：・自己評価表に沿って、学習成果を振り返る</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：ふれあい実習要項を熟読し、各実習回における内容を確認し、必要な情報の取得に努めてください。</p> <p>事後学習：各実習回を振り返り、得られた情報の整理および課題の遂行に努めてください。</p>
評価方法、評価基準	到達目標に対し、学習参加状況（現地実習、発表交流会、事前・事後学習会、学内展示、グループごとの集まりなどすべて含む）30%、実習態度30%、自己評価票10%、グループ報告書30%により評価します。
必携図書	なし
参考図書・資料等	本学図書館、上越市立高田図書館、上越教育大学附属図書館等で所蔵している郷土資料や、新聞記事など、さまざまな情報源があるので、これらを活用してください。
受講、課題、資料配布等のルール	集合時間や提出物の締め切り等を厳守してください。
教員からのメッセージ	教室という枠組みのない状況での学びには、自他を再発見する大きな可能性が開かれています。積極的に地域の人々と交流し、実りある楽しい実習にしましょう。「観察」「傾聴」「記録」の体験を今後の看護実習の備えにするとともに、看護の対象である生活者や地域医療の課題についての問題意識、みなさん方の将来の看護観の形成につながるような「種」（着想）を、たくさんもちかえってください。
オフィスアワー	参照。